

経 済 セ ッ シ ョ ン

経済成長と和諧社会の展望



座 長

高橋五郎（愛知大学）

報告者

呉曉波（浙江大学）

ルー・ディン（フレーザーバレー大学）

巖善平（桃山学院大学）

高橋五郎（愛知大学）

田中英式（愛知大学）

山本一巳（愛知大学）

コメント

川井伸一、李春利

討論者

ジャック・ハウ



2008年12月6日（土）

○司会 愛知大学国際中国学研究センター、2008年度国際シンポジウム「中国をめぐる開発と和諧社会」第2日目の会議を開催いたします。

それでは早速、経済セッションを始めさせていただきます。経済セッションのテーマは、「経済成長と和諧社会の展望」についてです。座長の高橋五郎先生に司会をバトンタッチいたします。

○座長（高橋） 皆さま、おはようございます。ただいまから12時ごろまで、経済セッションの討論会を始めます。共通テーマは「経済成長と和諧社会の展望」です。

なお詳しくは、今日お配りしました報告書集の4ページをご覧ください。簡単に各セッションの討論の概要が記載されてあります。経済セッションは「経済成長と和諧社会の展望」というテーマでおこないたいと思います。もちろん、このテーマから外れた議論があってもまったく構いません。これも大歓迎ですが、基本的なキーワードは「経済と和諧社会」です。

昨日のオープニングセッションの場でも申しましたように、中国の開発問題を経済的な観点から見ますと、経済社会の開発、経済のインフラストラクチャー、あるいは経済の運営管理の方法と、人間の開発という2つの側面を持っています。したがって、経済の発展と人間の発展が裏腹の関係にあるわけですが、必ずしも十分に歩調を合わせ、あるいはハーモナイズされていない点に1つの問題があります。そのような点も含めて、これからいろいろと議論を進めたいと思います。

最初に、経済セッションで報告いただきます方々をご紹介します。報告書集の8ページをご覧ください。座長は私、高橋ですが、発言の順番に従って、報告者をご紹介します。

最初に、呉曉波（WU Xiaobo）先生です。浙江大学からいらっしゃいました。ご専門は経営管理学でいらっしゃいます。日本のCOE（Center of Excellence）にあたります教育部の研究基地の責任者としておられます。続きまして、ルー・ディン（LU Ding）先生です。フレイザーバレー大学からいらっしゃいました。ルー・ディン先生は以前、愛知大学ICCSの訪問教授として4カ月間滞在されたこともあります。

次に嚴善平（YAN Shanping）先生です。桃山学院大学の経済学部の教授です。ご専門は中国農業、さらに幅広く経済全体についての積極的なご発言をしておられます。続きまして、佐藤元彦先生です。本日は学内用務のため欠席いたします。

続きまして、愛知大学経営学部、また国際中国学研究センターの運営委員でもあります田中英式先生です。続きまして、愛知大学現代中国学部教授であり、国際中国学研究センターの運営委員でもあります山本一巳先生です。

以上が報告者ですが、コメントをしていただくコメンテーターを2名の方をお願いしてまいります。いずれも愛知大学からですが、お一人は川井伸一先生です。所属は愛知大学経営学部であります。同じく国際中国学研究センターの運営委員です。そして、もうひと方が、ただいま司会をしていただきました李春利先生です。愛知大学経済学部の教授で、かつ国際中国学研究センターの運営委員です。

さらに、昨日2時間ほどの貴重なご講演をいただきましたジャック・ホウ先生には、総括的な討論者として、コメントならびに質問をいただくお役目をお願いしてまいります。

以上、順次発表をしまして、その後、皆さま方からのご質問やコメントをいただきたいと思えます。時間の配分は、1人約10分、最長で12分程度のご発言をいただきます。その後、今紹介しましたお二人の先生から15分以内でコメントをいただきます。さらにジャック・ホウ先生からは、10分程度で総括的なご質問とコメントをいただきたいと思えます。

その後、会場を含めた自由討論の時間を設けたいと思えます。昨日も申しましたように、できれば会場にいらっしゃる方々も一緒に、この問題について議論をしていただきたいと存じますので、ぜひ積極的なご発言、ご質問をお願いしたいと存じます。合わせまして150分、2時間半を予定しております。

それでは早速、最初の報告からお願いします。最初は浙江大学の呉曉波先生で、テーマは「セカンダリー・イノベーション（Secondary Innovation）」です。